

福井県オリジナルブランドものこ



越前カンタケの栽培マニュアル (菌床栽培用)



■越前カンタケとは

越前カンタケは昭和 62 年に池田町で発見された野生のヒラタケを福井県総合グリーンセンターで組織培養し、平成4年2月に「ふくひら 1 号」(通称:越前カンタケ)として品種登録されたきのこです。「寒茸(かнтаけ)」の名前のおり 12 月~2 月の冬期に発生するきのこです。

普通のヒラタケと比べて足が太くて長いのが特徴です。旨み成分のアラニンを含んでおり傘も足も美味しく食べられます。

現在では鋸屑等で作った菌床を利用した栽培が主流になっており、冬季の空きハウスを利用した栽培や、家庭でも気軽に楽しめるプランター栽培等、安全で安心な美味しいきのこづくりを楽しめます。



原木に生えるカンタケ

■プランター栽培

(普通のプランターで経費1,100円程度です)

1. カンタケの菌床(白いブロック)2個(2.5kg)
2. プランター…1個
(普通のプランターで2個入ります)
3. 鹿沼土…1袋(約14L)
または赤玉土、普通の土でもOK
4. 水 (プランターの底に新聞紙)



【栽培プランターの作り方】

11月以降に伏せこみます。

- ①プランターの底に新聞紙を敷き、鹿沼土等を3cm程度敷き詰めます。
- ②菌床を袋から取り出し、プランターの中に置きます。
- ③菌床の周りを鹿沼土等で覆います。(菌床が2cmくらい土から出ている程度まで)
- ④菌床に充分散水し、薄暗い場所に置きます。(場所によって寒冷紗で日除けをしましょう)

【管理の方法】

- 菌床を常に湿った状態にしておきます。
(手で触って湿り気を感じる程度。)
- 水はプランター全体にかけてください。
きのこの頭が黒くなってきたら、
鹿沼土だけに水をかけるようにしましょう。
- 乾燥しがちなところは水を少し多めに。
その後も乾燥しないよう時々散水してください。
- 管理状態が良ければセット後20日程度で発生します。
(日中気温8℃前後が目安)
- 11月から3月頃まで、継続して周期的(20~30日程度)に発生します。



【収穫の方法】

- 傘の大きさが好みの大きさになったら収穫します。
(大きくエリンギみたいにもできます)
- 菌床に傷をなるべく付けないように手で摘み取るか、
カッターなどで根元を切り取って収穫してください。



【注意】

- 菌床は雨と直射日光が苦手です。
- 玄関先、車庫、小屋、屋根のあるベランダ、家の北側の軒下など、薄暗い場所に置いてください。良い場所がない時は寒冷紗等で日除けをしましょう。
- 菌床が乾燥してカラカラにならないように、時々散水してください。